

日本のジェノグラム

早樫 一男

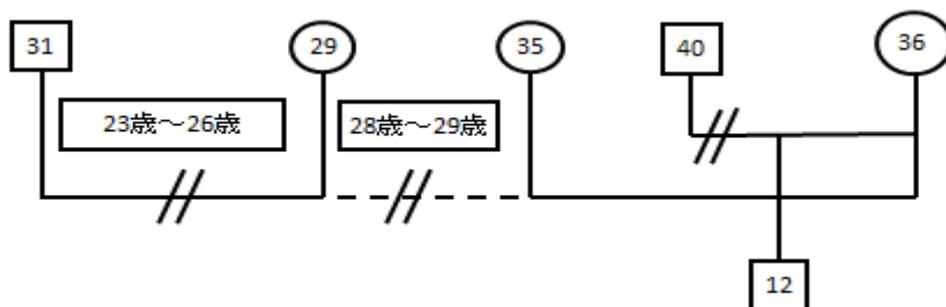
13

はじめに

最近、芸能人を始め、話題になっている「不倫」。婚姻関係にある男女が配偶者以外の異性との親密な関係を持つことを不倫関係とすると、そこには夫婦サブシステムやバウンダリーの課題が伺われます。

ジェノグラムの表記では、入籍していない場合（内縁関係）や同居の表記は以下のようになります。男女の間は点線で結びます。

以下は、31歳の男性のジェノグラムです。23歳の時に結婚し、3年後離婚。28歳から約一年間、ある女性と内縁関係にありました（同居していました）。ある事情から別れた後、最近、離婚経験のある36歳の女性と再婚しました。男性の結婚歴（内縁も含む）を実線や点線を横に広げていくことによって、時間の流れ（歴史）が分かり、家族や個人の歴史に思いを巡らせることができます。



不倫関係の表記は？

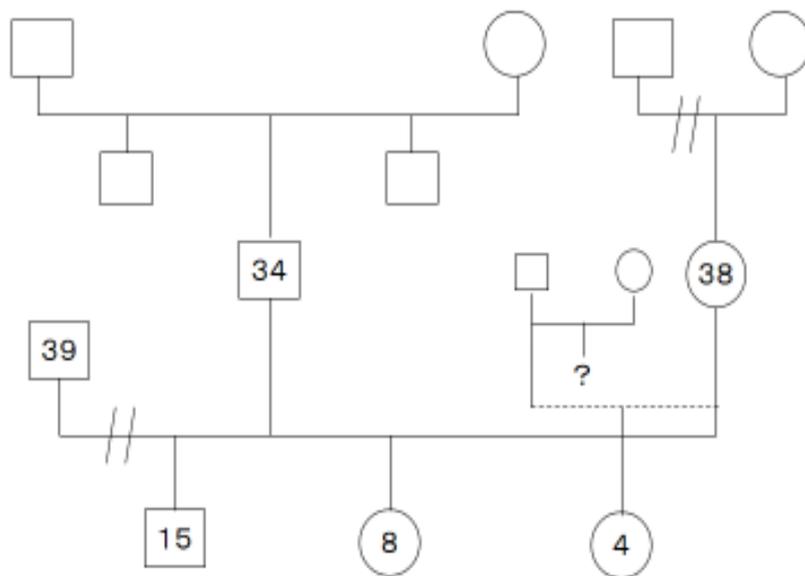
ところで、婚姻関係と平行して、配偶者以外の異性との関係がある場合の表記をどのようにしますか？

あれこれ考えていると、以前、紹介したジェノグラム（「日本のジェノグラム 3 これまで経験したのは」より）が思い浮かびましたので、改めて、紹介します。

『これまでの経験では…』として紹介した以下の事例は妻の不倫でした。4歳の女儿的生物学的な父親は38歳の女性が付き合っていた男性（年齢不詳）ですが、34歳の男性と38歳の女性は婚姻中ですので、現在の民法では戸籍上の父親は34歳男性となります。

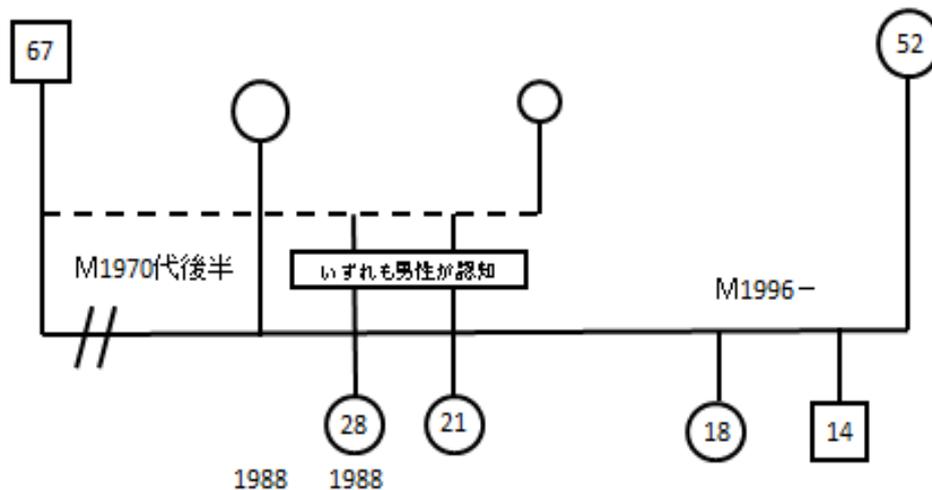
なお、38歳女性は不倫関係にあった男性の家族関係については、詳しくわからないため、「？」としています。

これまでの経験では…



上記のジェノグラムを妻の不倫の表記の一例とすれば、以下のジェノグラムは男性の不倫の表記の一例です。

男性の不倫：認知の有無を表記



なお、男性の不倫の場合、相手との間に生まれた子どもを認知しているなら、ジェノグラム上のどこかに表記しておきましょう。

婚姻中の夫の不倫、妻の不倫の基本形としては、夫婦つなぐ線の上に、点線で不倫関係（相手の家族状況）を描くこととしました。

ひとこと…

さまざまな話題から家族関係に関心を持つことができます。今回は「不倫関係」を話題にしました。

ジェノグラムを作成することを通して、日本の家族が抱えている課題や家族の多様性など、さまざまな視点から考えることができるのではないかと改めて強く感じています。

今後もさまざまな家族の形態にあわせたジェノグラムの表記について、取り組み、家族理解を深めていきたいと考えています。

「日本のジェノグラム」としての連載は今回で一区切りとします。読者のみなさまに感謝申し上げます、

今後は不定期な掲載を考えています。引き続きよろしく申し上げます。